

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
6	札幌医科大学医学部薬理学講座
<b>題名 (原題/訳)</b>	
<p>Alcohol consumption is associated with enrichment of high-density lipoprotein particles in polyunsaturated lipids and increased cholesterol esterification rate.                      アルコール摂取は多価不飽和脂肪酸の HDL レベルの増加とコレステロールのエステル化速度の増加を伴っている</p>	
<b>執筆者</b>	
Perret B, Ruidavets JB, Vieu C, Jaspard B, Cambou JP, Terce F, Collet X.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Alcohol Clin Exp Res 26(8):1134-1140 (2002)	
<b>キーワード</b>	
アルコール摂取、ワイン、HDL レベル、コレステロールレベル	
<b>要 旨</b>	
<p><b>背景:</b> アルコール摂取は HDL レベルの増加と関連している。さらに、飲酒者では赤血球リン脂質の脂肪酸パターンでの変化が見られる。この研究の目的は、通常のワイン飲酒者で、HDL 顆粒の脂質分子種の組成とこれらの HDL の機能的性質について検討することである。</p> <p><b>方法:</b> 46 人の被験者が南フランス、トゥルーズでの住民調査の際に集められ、1 日のアルコール消費量を含めた栄養調査が行われた。被験者はその 1 日アルコール(多くは赤ワイン)摂取量から 0、1 日 35 g 以下、1 日 35 g 以上に分けられた。血漿 HDL 分画を分離し、中性脂肪分子種とリン脂質脂肪酸がガス-液体クロマトグラフィで分析された。細胞コレステロールの遊離、コレステロールのエステル化、リポ蛋白質間のコレステロールエステルの転移は細胞-血漿インキュベーション系で測定した。</p> <p><b>結果:</b> 1 日 47 g のワイン飲酒は HDL コレステロールとアポリポ蛋白 A-I の増加を伴っていたがトリグリセリドは増加していなかった。分離した HDL は、全てのコレステロール分子種での 27% の増加が示された。コレステロール顆粒は多価不飽和脂肪酸、特にアラキドン酸(+30%)とエイコサペンタ酸(+90%)を含んだものが豊富であった。血漿コレステロールエステルの速度は飲酒しない者と比較して飲酒者で 27% 高かったが、細胞コレステロール遊離の速度は変わらなかった。</p> <p><b>結論:</b> 通常のワイン消費は HDL の多価不飽和脂肪酸レベルの増加とコレステロールエステルの速度の増加を伴っている。</p>	